e 姿勢チェックの活用

（第 3 版）

■姿勢分析の活用法

具体的には、次のような目的で活用されることをお勧めいたします。

①**新規の患者様**には、出来れば初回に評価（合成比較）して**施術前後**の改善された変化を説明するときに、よりしっかりとした**上位施術の必要性**や**計画的な施術の必要性を納得**していただくように活用しています。

※初回に説明時間が取れない場合でも、施術前後の姿勢撮影はされて、
次回以降に説明されることをお勧めします。

また当院では体の状態をしっかりと分析するために、まず 3 回続けてもらうように指導しています。そして、3 回目には初検時の**施術前**姿勢と 3 回目の**施術前**姿勢を評価（合成比較）するようにしています。

これにより、**施術を継続する効果を実感**していただけますのでお勧めします。

②**既存の患者様**にも評価（比較）してあげてください。不良姿勢は中・長期的な問題であることを実感されますので、**根本施術（自費施術）の必要性を納得**していただくために活用しています。

③**健康管理の患者様**には、姿勢チェックまたは姿勢リセットとして定期的に活用しています。不良姿勢が将来のリスクになってしまうこと、不良姿勢の予防として**継続した健康管理施術の必要性**の説明に活用しています。

④**評価した画像は患者様に送る**ようにしていますが、**患者様紹介のきっかけ**になりますのでお勧めいたします。

■姿勢を綺麗に整えるポイント

普段の施術を行っていただければ、大抵良い評価が得られると思いますが、全般的に強い刺激よりも、弱い刺激で体の緊張を緩和した直後の方が綺麗に撮影しやすくなります。

■姿勢撮影について

通常は姿勢を評価する日の施術前と施術後の姿勢を撮影しますが、
姿勢評価を提案した日に施術前を撮影し、次回に施術後を撮影して比較しても良いと思います。

普段新患の方の場合、不定愁訴の方には当日比較することが多く、症状の強い場合は、初検時に施術前の姿勢撮影をしておいて、数回目の施術前または施術後の画像と比較するケースがあります。

■姿勢分析の流れ

①来院

↓

②施術前の姿勢撮影（４方向）

正面 ➡ 左側面 ➡ 右側面 ➡ 背面の順に撮影してください。

※別に撮影した画像がある場合も、撮影条件が異なるので取り直してください。

↓

③施術

※施術方法は各利用者様にお任せしておりますが、CIM が行っている方法はご連絡いただければご説明します。

↓

④施術後の姿勢撮影（４方向）

正面 ➡ 左側面 ➡ 右側面 ➡ 背面の順に撮影してください。

↓
⑤姿勢画像の**複数同時保存**を実行しておきます。

↓
⑥普段の症状に対する施術は、このタイミングで行います。

↓
⑦患者様に説明する前に事前に評価します。
※事前評価している間は、安静（仰臥位で呼吸法など）にして待っていただきます。
※通常は、前後のいずれかと、左右いずれかの側面を説明していますので、
　前後と左右側面を比較して、説明する比較画像を決めておいてください。

↓
⑧患者様に**合成比較**で評価してあげます。

詳しい操作の流れは別資料を参照ください。

ご不明な点はお気軽にご連絡ください。

【お問合せ】 CIM 有限会社　E.F.A.S 事務局　TEL: 075-366-3991　E-mail : support@efas.jp